

2017年度プロジェクト活動報告：これからの創造のためのプラットフォーム

[研究概要]

このプロジェクトでは、アート、デザイン、思想、暮らし、地域等の様々な領域における実践者の知見に触れながら現代社会の課題を考察し、私たちの思考の可動域を拡げ、これからの時代の「創造」のあり方を探っていく。

[活動内容・研究成果]

4年目となる2017年度は、名古屋文理大学の木村亮介准教授、青山太郎准教授との共同企画として、フランス人映像作家であるヴィンセント・ムーン、郡上八幡音楽祭を主催する井上博斗を招いて上映会＋トークイベントを開催した。カメラをカタリスト（触媒）として世界を旅し、「音楽」という一回きりの体験を膨大な生きたアーカイブとして発信し続けるヴィンセント・ムーンと、岐阜県郡上八幡を世界の音楽家の交流の地として開く井上博斗との対話を軸にディスカッションをおこなった。会場となる岐阜市のカフェnakaniwaには50名を越える聴衆が参加した。尚、これまでプロジェクトで主催されたレクチャーやイベント等の記録は2017年度に再制作された以下のWEBサイト上で公開される。

<http://sozoplatform.org>

・[2017年度に開催したトークイベント]

2017. 12. 26 これからの創造のためのプラットフォーム主催「TALK WITH VINCENT MOON in Gifu」

ゲスト：ヴィンセント・ムーン（映像作家）、井上博斗（郡上八幡音楽祭プロデューサー）、青山太郎（名古屋文理大学准教授）





